

【施設状況】

グループ名称	障害者就労支援施設（ななせ仲まち園、ふたば園）								
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会				法人番号	5100005001689			
所管課	主	102000	障害福祉課	副					
構成施設	1411	ななせ仲まち園							
	1415	ふたば園							
施設分類	05	保健福祉・医療型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	02	利用料金制
施設概要	ななせ仲まち園 作業室3、静養室2、食堂兼多目的室、相談室、更衣室2、事務室1 ふたば園 作業室、静養室兼多目的室、更衣室2、事務室兼相談室								
施設設置目的	障害者に対し就労に必要な知識及び能力の向上のために必要な訓練等を行い、及び就労の機会を提供し、並びに障害児に対し生活能力の向上のために必要な訓練等を行うことにより、障害者及び障害児の福祉の増進を図る。								
基本方針等	1. 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立った支援に努めます。 2. 地域や家族との結びつきを重視し、利用者の所在する市町村、居宅支援事業者その他保健医療サービスまたは福祉サービスを提供する者との連携に努めます。 3. 生産活動の機会の提供にあたっては、利用者の心身の状況、意向、障害の特性等を考慮します。								
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・就労移行支援 ・就労継続支援B型 ・就労定着支援 								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会		指定回数	3 回		
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	就労移行支援 ななせ仲まち園	人	6	6	6	6	100%	
	就労継続支援B型 ななせ仲まち園	人	32	32	34	34	100%	
	就労移行支援 ふたば園	人	0	0	0		#DIV/0!	
	就労継続支援B型 ふたば園	人	37	36	33	22	67%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) ・ 利用状況は、日平均 ・ ふたば園分園が単独事業所「ほたるの里」となりふたば園の定員を20名に変更した。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	・ 利用の申し出に対する承認に関する業務 ・ 就労移行支援、就労継続支援B型に関する業務 ・ 施設及び設備の維持管理に関する業務						
	自主事業	・ 送迎サービス ・ イベント等における、販売実習の実施 ・ 旅行やお花見、キャンプ、節分会など季節に応じたイベントを実施 ・ 就労定着支援事業（ななせ仲まち園） ・ タイムケア（ふたば園）		・ 追加事業 社会福祉法人の社会貢献事業として生活困窮者に対して食糧支援を実施している。（ななせ仲まち園）				
サービス維持・向上の取組み（広報等）	・ 通所施設ガイドブックやホームページへの掲載及びパンフレットの配布を行い、利用申し込みの受付体制の確保、利用者からの苦情に対する対応をしている。 ・ 企業との良好な関係を築くことで障害者雇用の促進を図っている。							

4

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容		評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者会議等	
利用者からの評価・苦情等	(2) 調査、会議等の内容	利用者会議や家族会への出席、個別支援計画の作成に合わせた面接、昼食を一緒にとるなどの機会を利用し、本人や家族に対する聞き取り調査を行い、利用者の要望把握に努めている。		
	(3) 調査、会議等の結果	調査結果を利用者の個別支援計画や目標設定の参考とし、個々の適性に合った支援に結びつくようにしている。		
	(1) 良好とする評価	・ 利用者や保護者の意見・相談に耳を傾けることに力を入れていて、一定の評価を得ている。（ふたば園） ・ 就労移行については、事業者間で共有している情報やふくしネットを活用して個々の利用者に応じた就労先探しを行っている。これにより複数名の利用者が就職に結びついており、利用希望者等からも高い評価を受け、施設見学者や実習体験者が引き続き来所している。ななせ仲まち園では定員を上回る利用がある日も生じ、近接する栗田園と連携をしながら、利用者ニーズに応えている。（仲まち園）		
利用者からの評価・苦情等	(2) 苦情・改善等の要望事項	・ 利用者の他利用者に対する言動が一線を越えており、複数の利用者からの苦情になっている。 ・ 利用者間のトラブルへの職員対応への苦情。（仲まち園）		
	「対応措置」	・ 利用者相互の関係を保てるように双方との話し合いを実施するとともに、当該利用者の主治医と連携を図り状況の改善を図ってきた。施設外就労の機会を提供するなど引き続き支援を進めている。 ・ 第三者委員を交えて話し聞く等の対応をした。（仲まち園）		

3

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金	736,000	利用料金	608,418	歳入	使用料		使用料	
	指定管理料		指定管理料			雑（納付金）		雑（納付金）	
	委託料		委託料			行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料	
	販売収入等	10,801,000	販売収入等	10,451,075		貸付料		貸付料	
	その他収入	54,000	その他収入	111,130		その他		その他	
	自立支援給付	115,907,000	自立支援給付	110,566,956		国県支出金	74,126,015	国県支出金	92,446,490
計	127,498,000	計	121,737,579	計	74,126,015	計	92,446,490		
支出	人件費	96,159,000	人件費	94,198,881	歳出	指定管理料		指定管理料	
	設備管理費	3,897,000	設備管理費	3,651,324		委託料		委託料	
	備品購入費	393,000	備品購入費	369,322		需用費		需用費	
	修繕費	1,618,000	修繕費	1,510,376		役務費		役務費	
	光熱水費	1,342,000	光熱水費	1,338,530		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	12,112,000	事業費	11,570,133		修繕費		修繕費	
	事務経費	5,109,000	事務経費	4,428,835		工事請負費		工事請負費	699,840
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費	
	その他		その他			その他		その他	
	扶助費		扶助費			扶助費	98,834,687	扶助費	123,261,987
計	120,630,000	計	117,067,401	計	98,834,687	計	123,961,827		
自主事業	収入	1,840,000	収入	1,030,859					
	支出	1,200,000	支出	262,765					
	自主事業損益	640,000	自主事業損益	768,094					
損益	7,508,000		5,438,272	差引	-24,708,672		-31,515,337		
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								80.5%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数)		
	ななせ仲まち園 13人(12) ふたば園 9人(7)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか		
平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか		
経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか		
施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか		
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか		

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		<input checked="" type="checkbox"/>
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		<input checked="" type="checkbox"/>
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	評価
地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。	3
協定内容・指定管理者提案	
追加された内容、未実施の内容及びその理由	
地域と連携しての防火訓練や作業活動等の実施	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	4	8	
利用者評価	3	12	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	12	
地域連携	3	6	
合計得点			

評価理由	<p>施設の目的及び基本方針に適合した運営を行っており、利用者の立場に立った安定したサービスが提供されている。また、家族や保護者、地元住民とも協力・連携をとりながら事業が実施された。施設の有効活用の面では、就労移行支援における職場定着が好成績であることと、就労定着支援に関しては、こまかなフォローを行っていることから、評価を4とした。</p>
------	---

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	<ul style="list-style-type: none"> 一般就労へ向けた支援 (作業訓練) の充実をはかるとともに就労の定着に向けた支援を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ななせ仲まち園では企業等へ積極的にアプローチし就労先の確保を行うとともに就労後のフォローを確実に実施した。(仲まち園) 養護学校から体験利用を受入れるなど、利用者ニーズに応えている。(仲まち園) 	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、安定したサービスの提供に努める。 不審者等に対処するため、防犯マニュアルを作成し、事業所の安全管理に努める。
---------------------	--

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

【ななせ仲まちな園】

- ・就労移行4名、就労継続支援B型3名を就職に結びつけました。
- ・各種イベントへの参加、新規作業種目への取り組み、余暇活動への参加などを通じニーズを満たすようサービス提供を行いました。
- ・就職に結びつけるための実習先を確保し、利用者のニーズ実現のため就労体験を実施しました。
- ・養護学校との連携を図るべく養護学校生徒の施設見学や実習体験を積極的に受け入れました。
- ・10月より就労定着支援を開始し、就職者のフォローを実施した。

【ふたば園】

- ・障害特性にあった作業種を導入し、働く喜びを実感することで意欲や自信につながる支援を目指している。
- ・多様化するニーズに対応するため関係機関と情報を共有するとともに、研修を実施し職員の専門性を高めている。
- ・家族のニーズに応えるため、希望により朝夕のタイムケア事業を実施している。
- ・家族の負担軽減のため、一部送迎を実施している。

② 業務の効率化に対する取組み

【ななせ仲まちな園】

- ・経費については、全般にわたり削減に努めました。
- ・納品を効率的に行う体制を構築しこれに関わる経費削減に努めました。
- ・職員間の連携を確実に図るため各種会議を開催し利用者ニーズの実現を図りました。

【ふたば園】

- ・法人内のネットワーク環境を整え、情報を共有するとともに、関係機関と連携し、迅速な対応ができるようにしている。
- ・会計ソフトを導入し、法人本部の管理のもと適正な処理をするとともに、経費削減や業務の見直しをしている。
- ・支援記録システムを導入し、業務日誌、アセスメント、個別支援計画、ケース記録等、統一書式を使用することにより、業務の省力化につなげている。また、職員が統一支援をすることで、利用者が混乱することがないようにしている。

③ その他

【ななせ仲まちな園】

- ・公民館等、各種社会福祉施設からの要請に応え出張販売に参加しました。
- ・就職後の定着支援をJOBコーチに頼るのではなく、当施設の職員が積極的に行き定着に結びつけるとともに、企業に対して障害者雇用の助成金等も含め説明を実施しました。

【ふたば園】

- ・ふたば園分園が単独事業所となり定員を20名に変更した。経営の安定を図るため利用率の向上、送迎体制の整備に努めた。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

【ななせ仲まちな園】

- ・就労移行利用者の確保と定着支援の充実。
- ・工賃向上の取り組み。
- ・重度障害者に対する作業種目の確保。
- ・利用者駐車場がなく新規利用者の確保に支障を生じる。

【ふたば園】

- ・作業スペースが限られ、作業も大口の受注ができない。工賃アップが課題であるが厳しい状況が続いている。
- ・3障がい受け入れとなっているが、精神障害者のニーズはない。公共交通機関が不便なため、通所できる利用者が限られる。
- ・事業所が土砂災害警戒区域に指定されており、利用者・家族・職員が安心して事業活動ができるよう、安全の徹底についてご指導、ご協力いただきたいと思っております。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

C

① 評価理由

【ななせ仲まちな園】においては、移行事業、継続支援B型共に複数の利用者が就職をし、平均工賃も前年度から向上をしほぼ目標どおりであった。10月からは定着支援事業を実施し、就労後のフォローに努めた。

【ふたば園】においては、利用者のニーズに応え一部送迎を実施し、希望に応じてタイムケアを実施するなど利用者中心のサービスを徹底した。分園については「ほたるの里」へ移行しB型の単独事業所として安定した経営を行った。

以上から両事業所共に計画や目標どおりの事業が実施できたと考える。

利用者のニーズに寄り添った個々の状況に合わせて無理なく働くことができるよう支援しています。

保護者に丁寧な情報提供をし、相談しやすい環境設定に努めています。職員体制を手厚くしていることから加算が取れていることと利用率が良いことから安定した経営状況です。地域の方から一定の理解を得られており作業の依頼を受けることがあります。

このようなことから目標どおりの評価としました。

② 次年度以降の取組み

【ななせ仲まちな園】

- ・移行における就職実績の確保に努めます。
- ・定着支援事業を充実させます。
- ・工賃向上に優先調達法の活用を始めとする様々な取組を行います。
- ・職員の資質向上を図るため、法人の研修計画による研修を始めとし、外部研修にも積極的に参加します。
- ・福祉サービス第三者評価を受審して、支援の質を高める取り組みをします。

【ふたば園】

- ・個々の障害特性、多様化するニーズに応えるため、更に職員の専門性を高めていく。
- ・社会、企業とのつながりを大切にし、就労体験や施設外作業を取入れていく。
- ・就労を基本にししながら、生活支援等のニーズに応えていくため日課やカリキュラムの工夫をしていく。